

# Q & A

## Q トコジラミに刺されるとどうなりますか？

A 吸血されると強いかゆみや紅斑がでます。吸血後、しばらくたってからかゆみができることもあるため、旅行先などで刺された場合、どこで刺されたかわからないこともあります。  
かゆみはアレルギー反応であるため個人差がありますが、あまりのかゆさに熟睡できず、日常生活に支障がでる場合もあります。

## Q どうして被害が増えているの？

A 都内で相談が増え始めた10年ほど前、被害の中心はホテル等の宿泊施設でした。旅行者の荷物等に付いて持ち込まれることが多いと考えられています。しかし近年、個人住宅からの相談も増加しています。ダニと間違えたまま対策をしているうちに被害が拡大してしまい、さらに病院・図書館・映画館などの公共施設に持ち込んでしまっているケースもあるようです。  
トコジラミは空腹や寒さに強く、効きにくい殺虫剤もあるため、早期発見・早期駆除が被害拡大を防ぐ重要ポイントになります。

## Q 感染症の心配は？

A 日本ではトコジラミが感染症を媒介した事例はありません。  
念のため、吸血したトコジラミを潰して血液に触れないように注意が必要です。

## Q 不衛生な場所に発生する？

A トコジラミが生息する場所は「清潔・不潔」には関係ありません。  
吸血源(人)がいて、潜みやすく(隙間)、快適(適温)な条件があれば、清潔な場所でも生息・繁殖します。  
ただし、整理整頓ができず掃除が行き届いていない場合、トコジラミの発見が遅れて被害が広がるリスクが高くなります。

## Q 駆除の相談先を教えてください。

A 駆除については、信頼のおける駆除業者が加盟している「公益社団法人東京都ペストコントロール協会」をご紹介しますので、保健所にお問い合わせください。

板橋区保健所 (生活衛生課 環境衛生担当)

03-3579-2335

窓口 板橋区大山東町32-15  
(板橋区保健所3階)



※施設内の衛生害虫の相談(おおまかな種類の同定や対策のアドバイス等)も行っています。

初版 施設管理者向けトコジラミ対策 2020年3月発行  
作成 板橋区保健所 生活衛生課

参考文献:トコジラミ(ナンキンムシ)の知識 2019年版 豊島区池袋保健所